私たちの町議会

めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information

2021.10.12 | No. 230

特集　令和２年度決算審査 P2～P5

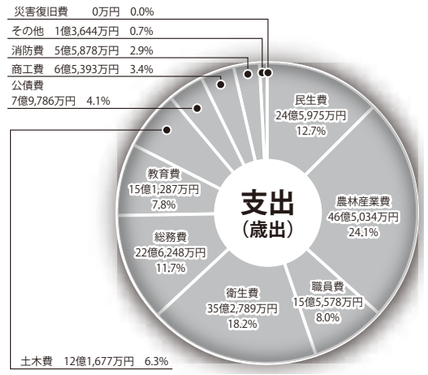
（一般会計・５特別会計・３事業会計　全て認定）

新嵐山改革への ご意見を募集します P8

議会だよりの表紙は、無限の可能性をイメージし子どもを掲載しています。

一般会計の歳出総額　193億3,288万円

一般会計と特別会計の歳出 239億8,457万円



	令和２年度	令和元年度	増減額
総　額	193億3,288万円	128億611万円	65億2,677万円
民生費	24億5,975万円	24億206万円	5,769万円
農林産業費	46億5,034万円	18億2,844万円	28億2,190万円
職員費	15億5,578万円	14億7,430万円	8,148万円
衛生費	35億2,789万円	14億2,372万円	21億417万円
総務費	22億6,248万円	12億6,085万円	10億163万円
教育費	15億1,287万円	12億3,013万円	2億8,274万円
土木費	12億1,677万円	12億714万円	963万円
公債費	7億9,786万円	8億240万円	-454万円
商工費	6億5,393万円	6億2,051万円	3,342万円
消防費	5億5,878万円	4億6,336万円	9,542万円
その他	1億3,644万円	8,891万円	4,753万円
災害復旧費	0万円	429万円	-429万円

※端数整理により合計は合いません

特別会計

会計名	歳入（収入）	歳出（支出）
国民健康保険	23億2,738万円	21億2,306万円
後期高齢者医療	2億9,444万円	2億9,366万円
介護保険	19億7,712万円	19億1,571万円
地域開発事業	3,406万円	3,098万円
簡易水道	2億9,401万円	2億8,828万円

会計名	歳入（収入）	歳出（支出）
一般会計	198億4,336万円	193億3,288万円

事業会計

会計名	歳入（収入）	歳出（支出）
下水道	7億6,280万円	7億6,837万円
上水道	5億5,984万円	4億9,260万円
公立芽室病院	23億2,433万円	21億2,423万円

※事業会計は収益的収支を掲載しています。

予算決算特別委員会

4日間の審査を実施

委員会に付託された令和2年度一般会計、5特別会計、3事業会計の決算は、9月6日から9日までの4日間にわたり審査されました。

各会計を細かく審査

審査は、会計ごとに行われ、適正に支出されているか、不用額は妥当であるか、事業の成果はあったのかなど、細かく質疑がなされました。

その後、すべての会計を一括した討論が行われ、電子表決システムによる採決の結果、賛成多数により**「認定すべきもの」と決定**しました。

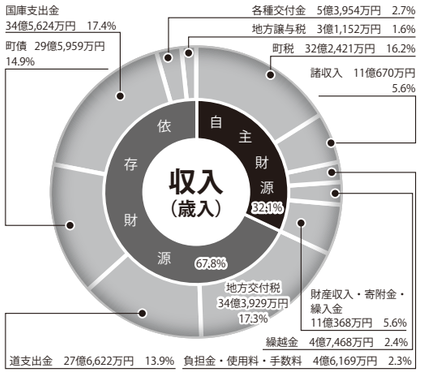
決算は本会議で最終採決

9月22日の本会議において、会計ごとに採決を行い、**すべての会計決算を認定**しました。

※主な質疑、討論は4ページ、5ページに掲載しています。

特集　令和2年度　決算審査

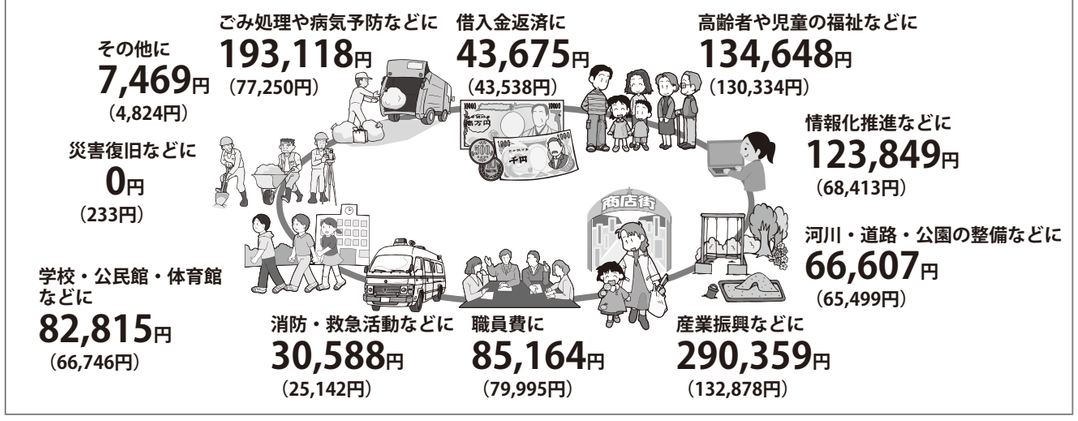
一般会計、５特別会計、３事業会計を審査
すべての会計決算を認定



	令和２年度	令和元年度	増減額
総　額	198億4,336万円	132億8,079万円	65億6,256万円
町税	32億2,421万円	32億3,086万円	-665万円
諸収入	11億670万円	4億5,391万円	6億5,279万円
負担金・使用料・手数料	4億6,169万円	4億7,252万円	-1,083万円
繰越金	4億7,468万円	4億256万円	7,212万円
財産収入・寄附金・繰入金	11億368万円	6億8,127万円	4億2,241万円
地方交付税	34億3,929万円	34億4,268万円	-339万円
道支出金	27億6,622万円	15億3,950万円	12億2,672万円
町債	29億5,959万円	13億6,964万円	15億8,995万円
国庫支出金	34億5,624万円	9億317万円	25億5,307万円
各種交付金	5億3,954万円	4億7,457万円	6,497万円
地方譲与税	3億1,152万円	3億1,012万円	140万円

町民１人当たりの支出　1,058,292円（694,851円）
町民１人当たりの貯金　約152,000円（約184,000円）
町民１人当たりの借金　約671,000円（約546,000円）

※令和３年３月31日現在の人口18,268人で算出。
※（　）内の数字は令和元年度決算の額



電子表決システム

進行する柴田予算決算特別委員長

どう活かされた？私たちのお金!!

質疑数 184

審査時間 11時間29分

◆介護保険特別会計

問 梶澤　幸治 委員
福祉人材確保が重要。やりがいなどが感じられるよう、働き手の意見を聴いて未来への投資をすべき。

答 副町長、高齢者支援課長
働き手へのアンケートを実施しています。町としての直接支援は難しいですが、国への改善は求め、事業所等との情報共有により解決策を見出す考えです。

梶澤委員

中村委員

◆民生費

問 中村　和宏 委員
要配慮者支援事業の登録者に顕著な変化はあるか。また、町内会等への情報提供に課題はあるか。

答 健康福祉課長
3年ぶりの調査で、家族の状況も変わっています。個人情報であり、誓約書を基に町内会に提供しますが、取組が難しいなどの意見もあり、体制づくりが必要と認識しています。

◆農林産業費

問 寺町　平一 委員
農業委員会としては農地の流動化をどう考えているか。

答 農業委員会事務局長
賃貸期間更新の際には売買についても打診しますが、出し手の考えが重要となります。農業を行う方が所有できるよう考えています。

◆衛生費

問 黒田　栄継 委員
斎場は住民の理解が必要。コロナ対策、毎年の修繕、改修に向けてどのように進めるか。

答 町長、環境土木課長
耐震性は有り、既存施設を改修する方向で基本計画を今年度策定する考えです。プール建設以降は、大規模施設の建設に早期着手できない状況となりますが、整備年度を見据えて地域に説明していきます。

寺町委員

黒田委員

◆消防費

問 堀切　忠 委員
災害告知用戸別端末の配布率を上昇させるための考え方は。

答 総務課長
100％に近づけるため、個別の通知や案内など、積極的に対応しています。

◆教育費

問 中田智惠子 委員
奨学金償還免除制度の周知は行っているか。また、芽室町に戻っての就職に結びつくような企業情報の提供などは検討しないのか。

答 教育推進課長、教育推進係長
広報誌に掲載し、対象となる方には直接通知しています。企業情報の提供については行っていません。現行制度の拡大・変更などは、現状の推移を見極めて判断していく考えです。

◆職員費

問 広瀬　重雄 委員
協働とは言え行政（職員）の負担は大きい。持続可能なまちづくりのため、行政、民間、個人それぞれができることをやる必要はないか。

答 副町長、総務課長
仕事の質が今後の課題です。機構改革による人員配置等の評価は必要であり、住民サービスが維持できるよう行政運営していきます。

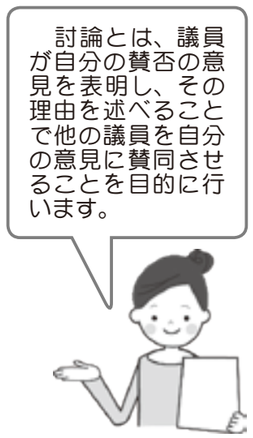
堀切委員

中田委員

広瀬委員

反対×賛成 討論

3日間の決算に対する質疑を終え、議員個人が決算に対し「反対（認定しない）」「賛成（認定する）」を表明する討論を行いました。
討論では、反対の立場で1人、賛成の立場で4人が意見を述べました。
それぞれの討論の要旨を掲載します。
※9件の議案を一括して討論するため、議案のうち1件でも反対要素があれば、反対の立場での討論となります。



反対

渡辺洋一郎 委員
第1に、国民健康保険税の引下げを求めること、第2に、後期高齢者医療特別会計における保険料負担増は被保険者の生活の質の低下に直結すること、第3に、介護保険料は、道内でも高水準であり利用者負担増は介護行政の後退であることから反対する。
最前線で新型コロナウイルス対策の事業実施にあたられた町長、職員のみなさまには敬意を表する。
今後も町民に身近で頼りになる存在として役割を果たすことを期待する。

賛成

立川　美穂 委員
令和2年度は、集まれない、直接会えないという制限がかかる中、高齢者や教育、子育て支援など、各担当課が工夫を凝らし町民ニーズの把握に努め事業を推進してきたことを確認した。
デジタル庁の創設により今後さらに自治体のDXが推進されるが、技術の導入で町民の暮らしをより良いものにするため、デジタルとは親和性がないとされてきた高齢者の介護予防や健康増進に活用する方策など、幅広い可能性の探究に努めていただきたい。

賛成

橋本　和仁 委員
コロナ感染症の拡大は生活経済活動に多大な影響をもたらしたが、当初予算、補正予算に計上された新規事業、継続事業は概ね執行され、プレミアム商品券、中小企業事業持続化支援金などは、地域経済の下支えになり、生徒一人ひとりへのタブレット支給などで教育も充実した。
経常収支比率の硬直化への不安は拭えないが、更なる住民福祉向上を期待し、第5期芽室町総合計画の実施に向けて前進していただきたいと切望する。

賛成

鈴木　健充 委員
新型コロナウイルス対策の事業持続化支援金や、年末の事業継続支援金など地元事業者への支援策は高く評価できる。
今後は、公立芽室病院の経営、農・林・商・工業の振興、新嵐山スカイパークを中心とした観光産業の振興など、重要な課題が山積し、町民にとって何が必要か、何を改善すべきかの、厳しい選択が迫られる。
限られた財源に見合った自治体運営を進め、「ずっと輝くまちめむろ」の実現を期待する。

賛成

正村紀美子 委員
町民の暮らしに向き合い、的確な事業の構築に取り組まれたことに感謝する。
ふるさと納税寄附額の増額に向けた取組み、雇用促進住宅と隣接地一帯のまちづくりビジョンの検討、防災ラジオで提供する情報の整理が気になる点ではあるが、事業は概ね執行できたと考える。
行政課題は山積し、見通しがつかないコロナ禍ではあるが、これまでの視点ではなく、まったく新しい発想での解決策を期待する。

次のページは「定例会議」「補正予算」「審議した議案と各議員の賛否」

9月 定例会議

町長提案の議案等及び議会提案の会議案等は全て原案のとおり可決

1日に開会した9月定例会議は、22日の最終日までに提案された議案等を、全て原案のとおり可決して閉会しました。

行政報告	1件
諮問	1件
任命同意	2件
令和2年度決算	9件
報告	1件
町道路線認定	1件
剰余金処分	1件
財産取得	1件
契約締結	1件
条例改正	3件
補正予算	7件
意見書案	3件
陳情	2件

●行政報告

町長から「新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況及び新型コロナウイルス感染者数について」報告があり、今後も、ワクチンの安定確保に努め、接種体制を維持する考えが示されました。

●陳情

「図書館司書を正職員とするよう求める陳情」は総務経済常任委員会へ付託され、休会中も含めて審査を行うこととしました。

「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の提出を求める陳情」は厚生文教常任委員会に付託され、「採択すべきもの」と決定し、本会議において採択した後、意見書を可決し提出しました。

9月 補正予算

各会計補正予算を原案のとおり可決 一般会計予算の総額は、123億746万7千円に

9月定例会議初日、及び最終日に提案された、令和3年度各会計補正予算は、予算決算特別委員会において審議し、原案のとおり可決すべきものと決定し、その後の本会議で可決されました。

一般会計(左記)のほか、「後期高齢者医療特別会計」、「介護保険特別会計」、「地域開発事業特別会計」、「下水道事業会計」、「公立芽室病院事業会計」においても増額補正されました。

一般会計(9月1日提案)

項目	補正額	主な事業
総務費	19,793千円	旧庁舎地下書庫再整備工事
民生費	1,230千円	医療的ケア児支援委託
衛生費	32,016千円	新型コロナウイルス対策事業
農林産業費	24,589千円	経営継承・発展等支援事業
商工費	3,631千円	圧雪車等修繕
土木費	21,234千円	道路施設維持管理業務委託
消防費	△2,706千円	事業系廃棄物収集運搬委託料
教育費	△919千円	
予備費	66,481千円	
合計	165,349千円	

一般会計(9月22日提案)

項目	補正額	主な事業
民生費	10,080千円	雄馬別地域集会施設再整備工事
衛生費	49,405千円	新型コロナウイルス対策事業
教育費	6,699千円	西中学校複合防災盤更新
予備費	△8,681千円	
合計	57,503千円	

審議した議案と各議員の賛否　令和３年９月定例会議

※早苗豊議長は採決には加わりません。

種類	議案名	黒田 栄継	中田智惠子	橋本 和仁	堀切 忠	渡辺洋一郎	梶澤 幸治	立川 美穂	中村 和宏	鈴木 健充	寺町 平一	正村紀美子	広瀬 重雄	柴田 正博	西尾 一則	常通 直人	審議結果	議決日
行政報告	行政報告	採決はありません。																9/1
諮問	人権擁護委員推薦につき意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	意見なし	
議案	芽室町教育委員会委員任命につき同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	任命同意	
議案	財産取得の件（図書館情報システム）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	芽室町手数料徴収条例中一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	芽室町道路の構造の技術的基準等を定める条例中一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
認定	令和２年度芽室町一般会計決算認定の件	予算決算特別委員会に審査付託																
認定	令和２年度芽室町国民健康保険特別会計決算認定の件																	
認定	令和２年度芽室町後期高齢者医療特別会計決算認定の件																	
認定	令和２年度芽室町介護保険特別会計決算認定の件																	
認定	令和２年度芽室町地域開発事業特別会計決算認定の件																	
認定	令和２年度芽室町簡易水道特別会計決算認定の件																	
認定	令和２年度芽室町下水道事業会計決算認定の件																	
認定	令和２年度芽室町上水道事業会計決算認定の件																	
認定	令和２年度芽室町公立芽室病院事業会計決算認定の件																	
議案	令和３年度芽室町一般会計補正予算（第５号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	令和３年度芽室町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	令和３年度芽室町介護保険特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	令和３年度芽室町下水道事業会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	令和３年度芽室町公立芽室病院事業会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
会議案	芽室町議会会議条例中一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
陳情	図書館司書を正職員とするよう求める陳情	総務経済常任委員会に審査付託																
陳情	「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率２分の１への復元、「３０人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情	厚生文教常任委員会に審査付託																
認定	令和２年度芽室町一般会計決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	9/22
認定	令和２年度芽室町国民健康保険特別会計決算認定の件	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
認定	令和２年度芽室町後期高齢者医療特別会計決算認定の件	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
認定	令和２年度芽室町介護保険特別会計決算認定の件	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
認定	令和２年度芽室町地域開発事業特別会計決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
認定	令和２年度芽室町簡易水道特別会計決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
認定	令和２年度芽室町下水道事業会計決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
認定	令和２年度芽室町上水道事業会計決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
認定	令和２年度芽室町公立芽室病院事業会計決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
陳情	「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率２分の１への復元、「３０人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
報告	令和２年度芽室町健全化判断比率及び資金不足比率報告の件	報告事項のため、採決はありません。															受理	
議案	芽室町農業委員会委員任命につき同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	任命同意	
議案	町道路線認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	令和２年度芽室町上水道事業会計剰余金処分の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	芽室西中学校屋上外壁改修工事（Ｒ２繰越）請負変更契約締結の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	令和３年度芽室町一般会計補正予算（第６号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	令和３年度芽室町公立芽室病院事業会計補正予算（第４号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
会議案	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
会議案	国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
会議案	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率２分の１への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

総務経済常任委員会

第8回　9月1日(水)
第9回　9月9日(木)
第10回　9月30日(木)

陳情審査

付託された「**図書館司書を正職員とするよう求める陳情**」の審査は、陳情者を参考人として招致し、質疑、自由討議を行い、慎重に審査を進めました。

討論では、**寺町委員、中田委員**から「会計年度任用職員として今の業務を処理することは十分可能であり、人事に絡むことに、議会が関わるべきではない」、「限られた財源の中、部署や待遇を精査し人員は適正に配置されていると捉えており、司書の募集に関しては条件を理解したうえで採用され、住民サービスの低下を招くことなく運営されている」との反対討論があり、全会一致で「**不採択とすべきもの**」と決定しました。

今後開催される本会議で審査報告を行います。

参考人質疑

新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について

令和3年4月から9月の売上が減少した飲食店等に対し、事業を継続するための支援金を給付すること、また、町内企業・事業所における新型コロナウイルス感染症の影響に対し、今後の支援等に繋げるための要望調査を10月から12月に行うことの説明を受けました。

意見交換会を実施

総務経済常任委員会の今年度抽出事業（**子どもからお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク**）に関し、議員個々がいただいた町民からの意見をミーティングにおいて共有、論点を抽出し、課題とした嵐山テナント3店との意見交換会を、9月16日にオンラインで実施しました。

新嵐山スカイパークの改革の流れの中、これまでの経過や昨シーズンの運営状況など生の声をいただきました。

いただいた意見も踏まえ、指定管理者の「めむろ新嵐山株式会社」に意見交換会の実施を依頼しました。

オンライン意見交換会

皆さんからのご意見をお願いします！！

新嵐山

アンケートはこちら

10月31日まで実施しますが、それ以降も入力は可能です。

「子どもからお年寄りまですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク」が実現するように、総務経済常任委員会においても議論を重ねています。

町は、令和2年3月に、新嵐山活用計画「Rural inn ザ・スカイパーク」を策定し、大きな改革へと舵を切りました。

キャンピングエリアや、キッズパーク、ドッグランの設置など、既に体験した方も多いと思います。

今後も令和9年度までに、レストランやリフトの改修などが計画されています。

議会（議員）にも、「良くなった」との声をいただく一方で、急な変革に戸惑う声や、昔を懐かしむ声もいただいています。

これらの声を踏まえ、所管する総務経済常任委員会として、町の活用計画が町民に浸透しているのか、改革がどのように受け止められているのか、どのような要望があるのかなど、町民・利用者の皆さんからお伺いし、議論を進めたいと考えています。

コロナ禍にあっては、大規模にフォーラム等を実施できないことから、急遽、オンラインでアンケート調査を行うこととしました。スマホで入力でき、質問数は多くありませんので、是非、回答にご協力ください。

厚生文教常任委員会

第9回　9月1日(水)
第10回　9月10日(金)
第11回　9月15日(水)
第12回　9月22日(水)

陳情審査

付託された、「**義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」などの教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の提出**」を求める陳情の審査を行いました。

参考人への質疑を経て、討論では、**堀切委員、黒田委員**から「教職員を増やし、長時間労働の是正や、少人数学級を実現していくことは喫緊の課題だ」、「国による教育予算の確保と充実がますます必要であり、感染症予防のために十分な身体的距離を保ち少人数で学級編成できるよう整備することも重要」とのいずれも賛成討論があり、全会一致で「**採択すべきもの**」と決定し、本会議で渡辺委員長から審査報告を行いました。

参考人質疑

本会議において採択されたのち、意見書案が議決され、衆議院議長などへ提出しました。

（意見書の要旨は11ページをご覧ください）

公立芽室病院施設整備予定について

公立芽室病院では、コロナ対策の拠点病院の一つとして、地域に根差した様々な取り組みに力を注いでいます。

中でもPCR検査、さらには抗体検査の実施体制の確立に取り組んできたことは、管内各所からも高く評価をされています。

今後さらなる体制強化の一環として、病院東側の空きスペースに駐車場を新設し、よりスムーズなドライブスルー方式での検査体制を構築するとの説明を受け、次のような質疑に対し答弁がなされました。

質疑　現在もドライブスルー形式だが、今後はどうなるか？

答弁　冬期間を想定すると、さらにスペースの確保が必要なことから拡充するものである。

質疑　PCR検査の実績は？

答弁　4月から8月までのトータル実績で1，566件。1日最大42件。

質疑　コロナ後を見据えた場合の想定は？

答弁　新型インフルエンザの対応実績などを踏まえると、新たな感染症などへの備えを想定している。

質疑　現在使用しているテントは撤去するのか？

答弁　夏季の分散機能として活用していきたい。

質疑　完成は来年か？

答弁　年明けの早い時期を目指したい。

今後も、西十勝地区のコロナ対策拠点病院としてさらなる役割発揮に期待が集まる中、その役割がさらに発揮されるよう、調査を続けてまいります。

整備予定の病院東側

放課後等デイサービス事業について

子育て支援課から、町内では発達支援センターでのみ運営されている事業をさらに拡充すべく、民間の参入を促進するとの説明がありました。

町民のニーズにどのように対応していくのか、スムーズな導入に向けた町の支援体制などが確立できるかなど、今後さらに調査を進め、議論を重ねてまいります。

次のページは「議会白書」「国に3件の意見書を提出」

議会白書　令和３年９月　延べ30時間52分活動しました！

会議名			日時 会議時間	休憩時間	実質時間	議　件	傍聴人数	ネット中継アクセス数
本　会　議	9月定例会議		9月1日 9:30～15:06	4:38	0:58	１．人権擁護委員推薦につき意見を求める件 ２．芽室町教育委員会委員任命につき同意を求める件　他	2	(559)
			9月15日 9:30～14:47	1:51	3:26	一般質問３人 （渡辺洋一郎、堀切　忠、正村紀美子）	4	(232)
			9月22日 9:30～10:55	0:26	0:59	１．令和２年度芽室町各会計決算認定の件 ２.「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率２分の１への復元､「３０人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情　他	2	システム不良により未集計
常委員会	総務経済	第8回	9月1日 15:35～16:26	0:12	0:39	１．陳情第９号　図書館司書を正職員とするよう求める陳情	2	(559)
		第9回	9月9日 13:30~15:43	0:29	1:14	１．陳情第９号　図書館司書を正職員とするよう求める陳情 ２．新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について	0	(145)
		第10回	9月30日 13:30~15:29	0:15	1:44	１．芽室町町有財産利活用等基本方針について ２．令和３年度総務経済常任委員会の抽出事業について 他	2	システム不良により未集計
	厚生文教	第9回	9月1日 15:15～15:25	0:00	0:10	１．陳情第１０号 「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率２分の１への復元､「３０人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情	0	(559)
		第10回	9月10日 13:30～15:27	0:25	1:32	１．陳情第１０号 「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率２分の１への復元､「３０人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情 ２．公立芽室病院施設整備予定について	1	125
		第11回	9月15日 15:00~15:20	0:01	0:19	１．新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況について	1	(232)
		第12回	9月22日 11:10～13:47	1:09	1:28	１．放課後等デイサービス事業について	2	システム不良により未集計
議会運営委員会		第11回	9月3日 9:30～11:07	0:23	1:14	１．９月定例会議における一般質問について ２．議会だより９月号の編集について　他	0	158
		第12回	9月14日 9:30～9:41	0:01	0:10	１．令和３年芽室町議会定例会９月定例会議の運営について	0	295
全員協議会		第4回	9月1日 9:41～9:42	0:00	0:01	１．人権擁護委員推薦につき意見を求める件	2	(559)
		第5回	9月16日 9:30～10:46	0:00	1:16	１．芽室高校生徒との意見交換会実施要領について ２．白樺学園高校との包括連携協定事業実施要領について　他	0	108
予算決算特別委員会		第4回	9月1日 13:15～14:55	0:00	1:40	・令和３年度各会計補正予算の審査について	2	(559)
		第5回	9月6日 9:30～14:25	2:14	2:41	決算審査 ・財政分析等の説明及び質疑 ・５特別会計、３事業会計	5	370
		第5回	9月7日 9:30～16:29	2:15	4:44	決算審査 ・一般会計　議会費～民生費	2	509
		第5回	9月8日 9:30～15:13	2:00	3:43	決算審査 ・一般会計　商工費～公債費 ・歳入全般	1	397
		第5回	9月9日 9:30～9:51	0:00	0:21	決算審査 ・全会計一括討論・全会計一括採決	0	(145)
		第6回	9月22日 10:11～10:26	0:00	0:15	・令和３年度各会計補正予算の審査について	2	システム不良により未集計
議会広報編集企画会議		第5回	9月29日 9:30～10:00	0:00	0:30	１．議会だより１０月号の校正について ２．議会だより１１月号の編集企画について		※
小　計			45:23	16:19	29:04		30	平均344.4
新嵐山スカイパークに係る意見交換会			9月16日 19:00～20:48	0:00	1:48	・新嵐山スカイパークの現状について		※
小　計			1:48	0:00	1:48			
合　計			47:11	16:19	30:52		30	平均344.4

ネット中継アクセス数　（　）同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示
※インターネット中継を実施しなかった会議

次のページは「編集後記」

国に３件の意見書を提出

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大の中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しており、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和４年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

1　令和４年度以降３年間の地方一般財源総額については､「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和３年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。

2　固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

3　令和３年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和２年度と同額とする負担調整措置については、令和３年度限りとすること。

4　令和３年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

5　炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率２分の１への復元､「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

教育の機会均等を確保するためにも、国の責任において義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担率を２分の１へと復元することが重要である。

また、子どもたちへのきめ細やかな教育を実現するためには、教職員定数を抜本的に改善することによる少人数学級の実現と教職員の超勤・多忙化解消は不可欠である。要保護・準要保護率は、依然として厳しい実態にある。また、給食費・修学旅行費などの私費負担が減少せず、地方交付税措置されている教材費や図書費についても自治体によってその措置に格差が生じている。

さらに､「奨学金制度」を利用せざるを得ない子どもたちや経済的な理由で進学・就学を断念する子どもが増加しており、その解消に向けて、就学援助制度・奨学金制度・高校授業料無償化制度を拡大させていく必要があることから以下の事項を強く要望する。

記

1　国の責務である教育の機会均等・水準の最低保障を担保するため、義務教育費を無償とすること。少なくとも、義務教育費国庫負担制度を堅持し、当面、義務教育費国庫負担金の負担率を２分の１に復元すること。

2　「30人以下学級」の早期実現に向けて、小学校１年生から中学校３年生の学級編制標準を順次改定すること。当面、中学・高校に「35人以下学級」を拡大すること。また、地域の特性にあった教育環境整備・教育活動の推進、住む地域に関係なく子どもたちの教育を保障するため、計画的な教職員定数改善による実質的な教職員増の早期実現、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置の実現のため、必要な予算の確保・拡充を図ること。

3　保護者負担の解消や、図書費などについては国において十分な確保、拡充を行うこと。

4　就学援助制度・奨学金制度・高校授業料無償化制度の拡大など、就学保障の充実に向け、国の責任において予算の十分な確保、拡充を図ること。

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

地方財政は依然として厳しい状況にあることから、国と地方の適切な役割分担のもと、防災・減災、国土強靱化に必要な予算を安定的かつ継続的に確保することが重要であり、国においては、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

記

1　国土強靱化に資する社会資本の整備・管理が長期安定的に進められるよう、公共事業関係予算の所要額を確保するとともに、地域の実態に鑑み予算を重点配分すること。
2　「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」を計画的に進めるために必要な予算・財源を確保すること。
3　「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の５か年対策プログラム」に基づく橋梁、トンネル等の老朽化対策を推進するため、点検・診断・補修などのメンテナンスサイクルを確立し、予防保全を含む戦略的な維持管理・更新事業を行うための技術的支援の充実を図ること。
4　新広域道路交通計画に基づき、高規格道路については、着手済み区間の早期開通、未着手区間の早期着手及び暫定２車線区間の４車線化といった機能強化を図ること。また、高規格道路と並行する国道とのダブルネットワークの構築などによるリダンダンシーの確保や道路の防災対策などによる耐災害性の強化を推進するほか、重要物流道路のさらなる指定を図ること。
5　冬期交通における安全性の確保、通学路などの交通安全対策、無電柱化の推進、安全で快適な自転車利用環境の創出、北海道観光の振興に向けた道路交通環境の整備など、地域の暮らしや経済活動を支える道路の整備や管理の充実を図ること。
6　維持管理に活用可能な交付金制度を創設するなど、公共施設の長寿命化や、すべての管理施設の点検や診断、補修、更新が交付対象となるよう採択要件を緩和するなど、地方負担の軽減を図ること。
7　冬期における円滑な交通確保のため、除排雪に必要な予算を確保するとともに、老朽化が進行している除雪機械等の計画的な更新・増強が可能となるよう財政支援を強化すること。
8　日本海溝・千島海溝周辺型地震に備え、避難施設、避難路などの整備及び津波対策緊急事業について、必要な予算の確保、地方負担を軽減する財政支援の充実強化を図ること。
9　堤防整備、ダム建設・再生などの対策を進めるため、粘り強い堤防の整備に関する交付金制度の拡充や準用河川改修の事業要件緩和、小規模河川改修に対応した財政、技術支援制度の創設など、「流域治水」の取組に必要な財政支援を更に強化すること。
10　災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。

意見書は要約しています。全文はコチラから⇦

表紙写真

春の種まきから始まった「農業小学校」の畑も収穫期を迎えました。

ジャガイモは小ぶりでしたが数は多く、枝豆は豊作でした。

みんなで協力し、楽しい作業となりました。

編集後記

■コロナ感染者数も減少傾向にありますが、収束が見通せない状況です。学校行事も集中する時期ですが、行事の精選など苦慮されていると思います。今までの日常に早く戻れるよう祈るばかりです。

中村和宏

■新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除されました。しかしながら終息した訳ではありませんので引き続き感染対策は継続しましょう！議会も頑張っております。町民の皆さんのご意見をお待ちしております。

広瀬重雄

■今月から議運主要事業の意見交換会がスタート。新しい議会モニターさんとの会議も始まり、貴重なご意見をいただきます。夏の疲れもそろそろ出てくる頃、気を引き締めて進めてまいります。

中田智恵子

●発行　北海道芽室町議会
●編集　議会運営委員会
●発行開始年月日　昭和56年７月

〒082－8651　北海道河西郡芽室町東２条２丁目14
TEL　0155－62－9731　FAX　0155－62－9813
メール　g-shomu@memuro.net
ホームページ　http://mgikai.memuro.net/gikai.htm

LINE@ 友だちになってね!! @memuro-gikai2014
芽室町議会の概要を紹介 スマートフォンサイト ▶スマートフォンサイトを見る
公式 Twitter アカウント @memuro_gikai
公式 facebook ページ http://www.facebook.com/memuro.gikai